



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 小野建株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 建

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 小野 信介

TEL 093-561-0036

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	69,492	0.6	1,255	△12.8	1,330	△12.5	786	△10.3
24年3月期第2四半期	69,047	11.8	1,440	△10.4	1,519	△10.4	876	△21.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 731百万円 (△12.5%) 24年3月期第2四半期 835百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	37.97	37.97
24年3月期第2四半期	42.31	42.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	96,778	46,796	48.3
24年3月期	103,559	46,275	44.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 46,713百万円 24年3月期 46,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,217	△1.2	2,953	18.2	3,080	16.4	1,903	26.0	91.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	21,244,830 株	24年3月期	21,244,830 株
25年3月期2Q	518,953 株	24年3月期	518,953 株
25年3月期2Q	20,725,877 株	24年3月期2Q	20,725,898 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要の遅れ、欧州の政府債務危機による円高の定着などから、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、従来からの基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」の一環として、9月に四国営業所を愛媛県松山市に開設いたしました。業績につきましては、鋼材市況は軟調に推移したものの、販売数量が増加したことならびに完成工事高も増加したことにより当第2四半期連結累計期間の売上高は、694億92百万円（前年同期比0.6%増）となりました。損益面におきましては、鋼材市況が軟調に推移したことによる在庫出荷分の利益率低下により、営業利益12億55百万円（前年同期比12.8%減）、経常利益13億30百万円（前年同期比12.5%減）となりました。特別損益といたしましては株価低迷による投資有価証券評価損が発生し、四半期純利益は7億86百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①九州・中国エリア

鋼材市況は下落したものの販売数量ならびに完成工事高の増加により外部顧客への売上高、ならびに利益が増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は369億13百万円（前年同期比1.8%増）セグメント利益は8億57百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

②関西・中京エリア

鋼材市況は下落したものの販売数量が増加したことにより外部顧客への売上高は増加いたしました。しかし、市況が軟調に推移したことによる在庫出荷分の利益率低下により利益は減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は186億69百万円（前年同期比4.4%増）セグメント利益は2億15百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

③関東・東北エリア

販売数量は前期に対し1割程度の増加となりましたが、鋼材市況の下落により外部顧客への売上高は減少いたしました。損益面におきましては、市況が軟調に推移したことによる在庫出荷分の利益率が低下したことにより減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は139億9百万円（前年同期比6.7%減）セグメント利益は2億30百万円（前年同期比62.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

前連結会計年度末比67億80百万円減少し967億78百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金ならびに商品及び製品の減少によるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末比73億1百万円減少し499億82百万円となりました。主な要因は、買掛金、短期借入金の減少によるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末比5億21百万円増加し467億96百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主要販売商品であります鉄鋼商品市況の動向や販売状況に鑑み、平成24年10月31日に第2四半期連結累計期間、および通期の連結業績予想の修正を発表いたしました。

詳細につきましては、平成24年10月31日公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金の費用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,769	1,769
受取手形及び売掛金	53,562	47,356
商品及び製品	11,563	10,439
原材料及び貯蔵品	1,247	1,272
その他	3,982	5,063
貸倒引当金	△271	△238
流動資産合計	71,854	65,665
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,916	18,916
その他(純額)	11,255	10,810
有形固定資産合計	30,171	29,727
無形固定資産		
のれん	202	147
その他	89	71
無形固定資産合計	291	218
投資その他の資産		
その他	1,797	1,673
貸倒引当金	△555	△505
投資その他の資産合計	1,241	1,167
固定資産合計	31,705	31,113
資産合計	103,559	96,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,208	31,027
短期借入金	17,500	13,069
未払法人税等	527	532
賞与引当金	206	218
役員賞与引当金	56	25
その他	3,445	3,797
流動負債合計	55,945	48,671
固定負債		
長期借入金	40	28
退職給付引当金	495	481
役員退職慰労引当金	397	390
資産除去債務	62	63
その他	343	347
固定負債合計	1,338	1,310
負債合計	57,283	49,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,780	3,780
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	39,358	39,935
自己株式	△602	△602
株主資本合計	46,045	46,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	96
繰延ヘッジ損益	7	△5
その他の包括利益累計額合計	154	90
少数株主持分	75	83
純資産合計	46,275	46,796
負債純資産合計	103,559	96,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	69,047	69,492
売上原価	63,739	64,428
売上総利益	5,307	5,063
販売費及び一般管理費	3,866	3,807
営業利益	1,440	1,255
営業外収益		
仕入割引	36	40
受取家賃	23	24
その他	67	49
営業外収益合計	127	114
営業外費用		
支払利息	21	18
売上割引	26	20
その他	0	1
営業外費用合計	48	40
経常利益	1,519	1,330
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	30
その他	0	0
特別損失合計	0	30
税金等調整前四半期純利益	1,520	1,299
法人税等	635	505
少数株主損益調整前四半期純利益	884	794
少数株主利益	7	7
四半期純利益	876	786

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	884	794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△50
繰延ヘッジ損益	△22	△12
その他の包括利益合計	△48	△63
四半期包括利益	835	731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	828	724
少数株主に係る四半期包括利益	7	7

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。